

進路だより

H25 10月発行 第2号

今回の進路だよりは、職員が行っている夏季体験研修についてお知らせしたいと思います。毎年夏休み中に本校の職員が福祉事業所に行かせていただき、体験研修を行っています。目的としては、福祉事業所での取り組みを体験し、その現状を知り今後の教育活動に活かし、交流を深め、情報交換を行う機会としています。体験研修にいった福祉事業所は、フレンズ、あさかぜ園、あん、虹、なぎの木園、すみれ、ステップ、わかば園、杉の郷、通園くじら、第2通園くじらです。各福祉事業所での体験内容と職員の感想と体験を受けての各事業所の感想をご紹介します。

～夏季体験研修で取り組んだ活動～

あさかぜ園

(就労移行)

- ・荒船海岸のトイレ掃除
- ・ゴミ拾い
- ・梅塩のパック詰め

(生活介護)

- ・グループ活動・余暇活動・入浴介助

なぎの木園

(生活介護)

- ・ちぎり絵制作、清掃

(ステップ)

- ・合宿準備

(すみれ)

- ・自由遊び、給食、プールなど

杉の郷

- ・健康観察
- ・盆踊りの練習
- ・食事介助・入浴介助
- ・洗濯物たたみ、整理

フレンズ

- ・とうもろこし収穫・自由遊び
- ・水遊びなど

わかば園(生活介護)

- ・畝づくり・草抜き・農作業
- ・わら干し、わらあげなど

第2通園くじら

- ・プール
- ・三重県学びの郷あそび

あん

- ・個別作業・散歩 など

虹

- ・施設案内・新宮市内探検

くじら

- ・保育への参加・掃除

各事業所の感想

- ・利用者たちが職員以外の大人の方と接する機会となり色々な方との会話やコミュニケーションの学習になった。
- ・本園に通う子どもたちの現状や本園から卒園した子どもたちの姿など、うかがうことができた。日常の保育の中で大切にしていることまた、思い出等を話させていただけると感じていると感じた。

本校職員の感想

- ・学校とは違う場面での子どもの様子をみることができた。
- ・話合う活動時、相手の意見を聞いて自分の意見と比較してどう伝えるかが学校以上に利用者の自主性、自発的活動が多く行われていることが印象的で、高等部在学中には少しでも自分の意見をしっかり伝え討論の土台作りも大切だと感じた。

日頃お世話になっている各事業所で体験をさせていただき、たくさんのことを学ぶことができました。今後の教育活動に活かすことができるいい機会であったと思います。

県知事賞受賞

本校卒業生の池田均さんが、障害者雇用優良事業所等表彰式で県知事賞を受賞いたしました。オークワ仲之町店農産部門に20年間勤めて、県知事賞を受賞することになったポイントは、「真面目に、辛抱して働くことです。」と語ってくれました。おめでとうございます。